



給食だより 1月号

令和2年1月8日発行 葛尾村学校給食センター

2020年がいよいよスタートします。今年1年を家族そろって良い年として過ごせるように食生活を見直したり、目標を立てたりすることは良いことです。給食では、今年も子どもたちの心と体が健やかに育つことができるように努力して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

以下に葛尾小中学校の給食指導の目標を掲載いたしました。学校では目標が達成できるように、少しずつ指導していきますので、ご家庭でも声かけをお願いいたします。



葛尾小学校 〈1月の給食指導の目標〉

○感謝して食べよう

- 低学年：食事のあいさつを心をこめてする。
- 中学年：当番の人などの苦勞を知り、配膳の協力をする。
- 高学年：給食を世話してくれる人たちへ感謝の心を持って協力する。

葛尾中学校 〈1月の給食指導の目標〉

○感謝して食べよう

- ・給食ができるまでを知り、感謝する。
- ・食べ物の大切さを知る。

【1月のめあて】
感謝して食べよう

給食には色々な人々が関わっています！

食事は毎日食べるものです。毎日食べていると、それが当たり前になってしまいがちです。しかし、食べものには多くの人が関わり、多くの手がかかっています。

学校では日々、子どもたちに感謝の心が育つように指導しています。ご家庭でもぜひ、この機会に食べもの大切さについて話をしてみることをおすすめします。

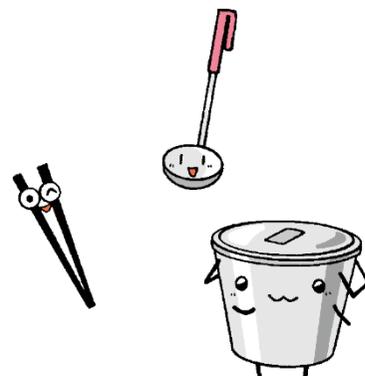


食事の
あいさつ

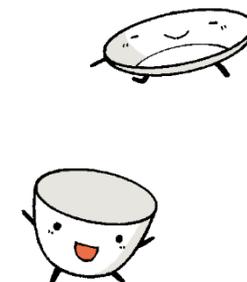
「いただきます」「ごちそうさま」



食べ物を食べるということは、動植物の命をいただくことにもつながります。その食べ物をいただくことや、料理してくれた人に感謝の気持ちを込めて、「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつを忘れないようにしましょう。



1月24日から
1月30日は
全国学校給食週間



葛尾の学校給食



調理員さんが毎日朝早くから準備をして、安心安全でおいしい給食を提供できるように、がんばっています！ 感謝して食べることができるようにしたいですね！

調理員3名で、約60食分を作っています！



非加熱食品を扱う際には、使い捨ての手袋を使用します。安全のために大切なことです！



葛尾村の新米だー！



おいしい！



残さないように、食べます。



いただきま〜す！



～全国学校給食週間とは～

学校給食は、戦争のために中断されていましたが、戦後の食糧難により児童の栄養状態が悪化したことから、その必要性が叫ばれるようになり、再開することになりました。

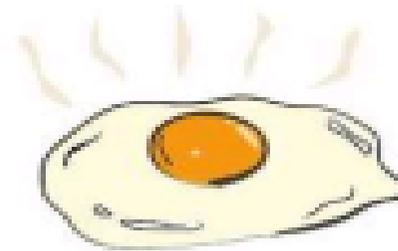
まず試験的に、昭和21年12月24日に、三都県（東京、神奈川、千葉）で実施することになり、同日に東京都内の小学校でララ（アメリカの宗教団体等からなるアジア救援公認団体）からの給食用物資の贈呈式が行われました。その日を学校給食感謝の日と定めていましたが、その後、冬季休業と重ならない1月24日から30日までの間を「全国学校給食週間」としました。

葛尾給食センターの給食週間メニュー

1月24日（金）『葛尾産かぼちゃサラダ』、27日（月）『じゅうねん給食』、28日（火）『おかしな目玉焼き給食』、29日（水）『手作り洋風給食』、30日（木）『きのこ汁給食』です。どれも手のこんだメニューです。ぜひ味わって食べてください。



じゅうねん給食は、じゅうねんを炒ってからフードプロセッサーで粉碎し、野菜とあえます。とっても香りが豊かで、美味しいです！



おかしな目玉焼き給食には、『目玉焼き』が登場します。でも、ただの目玉焼きではないのです。おかしな目玉焼きなんです！ まちがって、ラーメンに入れないでくださいね！